

## 船場地区の学校建設地について

### 1. 概要

平成29年第4回箕面市議会定例会において、箕面市立病院の移転建替えが決定したことを受け、今後の進め方を確認する。

### 2. これまでの検討経過

- 平成28年9月 市長から教育委員会に対し、船場地域における小学校の新設について意見照会
- 平成28年11月 教育委員会から市長に対し、「船場地域に小学校の新設が必要である」旨の意見書を提出
- 平成28年11月 政策決定会議において、船場地区に学校を建設することを決定
- 平成28年12月 第4回箕面市議会定例会にて、「船場地区学校建設調査検討委託」の予算を議決
- 平成29年9月 「船場地区学校建設検討調査」最終報告  
※学校建設候補地として、市立病院跡地かCOM1号館跡地が相応しい旨報告
- 平成29年9月 第3回箕面市議会定例会で議論  
※教育委員会としては、より敷地面積の広い市立病院跡地の方が望ましい旨答弁
- 平成29年12月 第4回箕面市議会定例会にて、市立病院の移転建替えが可決

### 3. 学校建設地について

「船場地区学校建設検討調査」最終報告において、学校を建設するために必要な面積・形状を備えた15の候補地について検討し、このうち3候補地に実現可能性があることが確認された。それら3候補のうち、「市立病院」跡地は、学校建設に必要な立地条件等の要件を満たしているほか、以下3つの観点において優れているため、「市立病院」跡地が学校建設地として最適である。

#### ①教育環境

「市立病院」は、幹線道路からは一定の距離を保った閑静な住宅街の中にあり、かつ、箕面の特色である豊かな田園風景、山並みを眺望できる場所に位置しているため、子どもたちが落ち着いてのびのびと学べる教育環境にある。また、周辺住民による「見守りの目」も十分にあり、通学の安心・安全も確保できる。

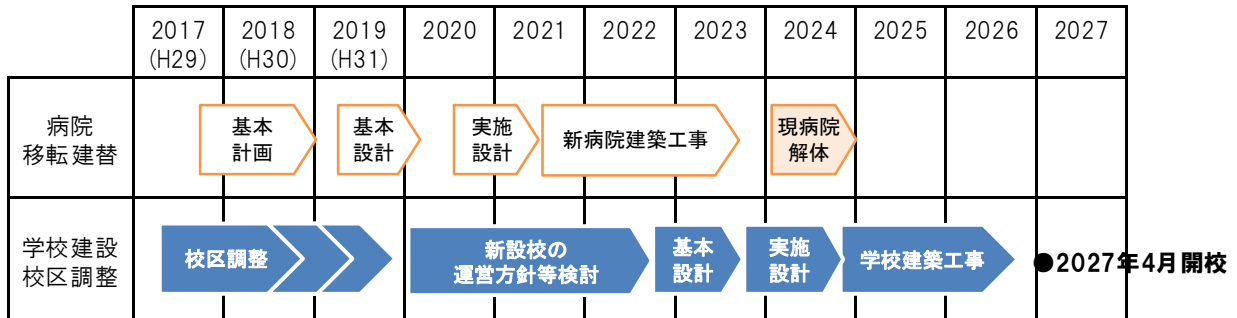
#### ②地域特性

今後、船場地区では、(仮称)箕面船場駅前に数棟の大型マンションが建設される以外に、特定業務地区内において大規模な住宅供給は想定されていないため、「国道423号より東側は商業・にぎわいのエリア、西側は住宅エリア」という現在の傾向は今後も維持されると考えられる。このことから、学校建設地は国道423号の西側が望ましく、「市立病院」はその要件を満たしている。

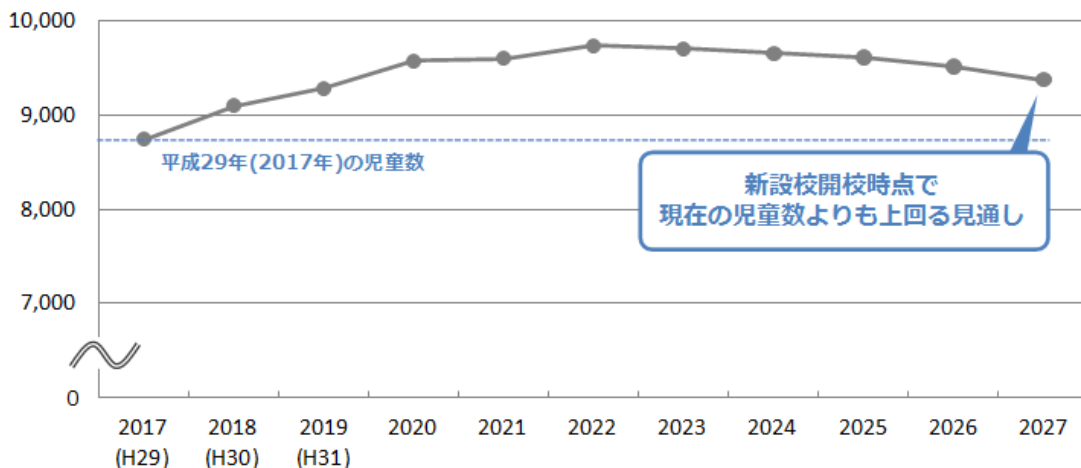
### ③施設配置の自由度

できるだけ広い敷地面積を確保できれば、運動場や校舎といった施設配置の自由度が高くなる。この点において、「市立病院」は、実現可能性のある3候補地の中で最も敷地面積が広いので、施設配置を柔軟に考えながら、良好な教育環境を整備できる。

## 4. 学校建設及び校区調整のスケジュール



【参考1】本市児童数の推移（教育委員会推計）



【参考2】第1回校区検討ワークショップにおける説明

#### ■校区調整の前提

- ①船場地区に学校を新設することによって学校数を純増させる（廃校はしない）
- ②長期にわたって安定的な校区とすることをめざし、全市的な校区調整を行う
- ③見直し後の校区への移行期間や経過措置を十分に設ける

#### ■校区調整の手法

- ①小学校から半径1km圏内を目安に校区を設定する（通学の安全確保のため）
- ②学校の大きさにあわせて児童数（校区の広さ）を調整することにより、各校区の「学校敷地面積／校区面積」の値がより均等に近づくようにする  
（各校区の人口変動に左右されず、かつ均等な教育環境を確保するため）

## 5. 直近のスケジュール

- 平成29年12月 関係者との調整
- 平成30年1月 政策決定会議において、学校建設地を決定
- 平成30年2月以降 平成29年度第3回通学区域審議会  
第2回校区検討ワークショップ

以上